

山形大学校友会のシンボルネーム・愛称の応募作品の選考結果（報告）

山形大学校友会設立10周年記念事業の一つとして、去る7月11日（月）から9月30日（金）までを募集期間として山形大学の学生及び卒業生に広く公募したところ、8人から延べ17作品のご応募をいただきました。

選考委員会において慎重に審議した結果は、下記のとおりです。

なお、優秀作品に選ばれた3名には、去る11月25日（金）の校友会設立10周年記念式典において、山形大学校友会会長である小山清人学長から、「賞状」と「奨学金（壹萬円）」を贈呈しましたことをご報告申し上げ、ご応募をいただいた方々への報告にも代えさせていただきます。ありがとうございました。

平成28年11月28日

山形大学校友会事務局

記

- 1 「最優秀作品賞」 …… 該当がありませんでした
- 2 「優秀作品賞」 …… 3名（次のとおり）

所属・氏名： 人文学部（2年） 伊東 里紗 さん

作品名： 「煌葉会」（きらばかい）

（作品の説明）

“山形大で学んで今後躍進する山大生が集う会”という意味を込めた。山形の豊かな自然と山大生を結びつけたかったので、大学自体を一本の樹木と仮定し、その枝々に生い茂るたくさんの木の「葉」を学生と考えた。「煌」の発想の起点は、自分自身が参加したオープンキャンパス2014の配付資料にあった「キラリ」である。私はこの言葉を、山形大で学び成長していく人達の活躍の様子と解釈した。これら二つの漢字を組み合わせ、煌葉会を考案した。

所属・氏名： 地域教育文化学部（3年） 菅野 亜寿真 さん

作品名： 「緑峰会」（りよくほうかい）

（作品の説明）

山形大学といえば山形市、米沢市、鶴岡市にそれぞれにキャンパスがあり、それぞれの街からは美しい山々を眺めることができます。私たちはそんな山々に見守られつつこの大学で学んできました。また、山形大学のイメージカラーは緑色です。山形大学での日々を風景とともに胸に刻み山大生の誇りを忘れずにいようという意味合いを込めて緑峰会という名前を考えました。

所属・氏名： 地域教育文化学部（1年） 清水 海斗 さん

作品名： 「櫻桃門会」（おうとうもんかい）

（作品の説明）

全国的に有名で、且つ山形を代表するものといえばさくらんぼ（櫻桃）である。香川県といえばうどんのように県名と特産物が直ちに結びつく都道府県はそう多くない。せっかく山形には、さくらんぼという県内外に広く知られている特産物があるのだからそれを使わない手はないと思った。そうすればこの名前を知らない人でも容易に櫻桃門会が山形大学の校友会であることに気づくだらうと思い考案した。